

あじさいネット OFF LINE 通信

2023.7
Vol. 47

Regional Health Information Network



田島（西海市）



特集 ネットワーク型地域連携パス		
特集	「いつでも専門医が支援できるネットワーク型パス (オンライン型地域連携パス)」 あじさいネット理事 松本 武浩 先生	p.2
特集	～糖尿病医科歯科連携パス～ 長崎大学病院 山下 利佳 先生	p.3
お知らせ	機能一覧	p.4
	情報提供病院 連絡先一覧	p.5-6
	入会のご案内	p.7
特集	～急性心筋梗塞（AMI）パス～ 長崎大学病院 前村 浩二 先生、黒部 昌也 先生	p.8-9
ご案内	あじさいな人々／編集後記	p.10

現在の運用状況

- 患者登録数： 166,134 名
- 会員数： 1,866 名
- 情報閲覧施設数： 368 施設
- 情報提供病院数： 37 施設

(令和 5 年 6 月 26 日現在)

賛助会員

- ◆ 日本電気株式会社 医療ソリューション事業部
- ◆ 株式会社 L S I メディエンス
- ◆ 株式会社 NTT データ中国
- ◆ 富士通 Japan 株式会社 長崎支店
- ◆ 株式会社 インテグリティ・ヘルスケア
- ◆ 東七株式会社
- ◆ ノバルティス ファーマ株式会社
- ◆ 株式会社 エスアールエル
- ◆ 沢井製薬株式会社



特定非営利活動法人
長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会（あじさいネット）

事務局：〒852-8532 長崎県長崎市茂里町3番27号（長崎県医師会内）
TEL. 095-844-1111 FAX. 095-844-1110 Eメール：aj-na@nagasaki.med.or.jp

いつでも専門医が支援できるネットワーク型パス (オンライン型地域連携パス) を利用しましょう。

特定非営利活動法人 長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会 理事
長崎大学病院 医療情報部 部長

松本 武浩 先生



庭園デザイナー・石原和幸氏が手がけた「四季の庭」にて。大学病院玄関を彩っています。

本年4月よりオンライン資格確認が義務化され、全国に広がった「あじさいネット」のような地連(地域連携ネットワーク)の価値を政府が理解し、政府主導の地連ともいえる「全国医療情報プラットフォーム」の第一弾として、処方情報および特定健診レポートの共有が始まりました。今後この対象は、3文書6情報まで広げることが当面の目標とされています。3文書とは、①診療情報提供書、②退院時サマリー、③健康診断結果報告書(特定健診レポート)であり、6情報とは、①傷病名、②アレルギー情報、③感染症情報、④薬剤禁忌情報、⑤検査情報(救急時に有用な検査、生活習慣病関連の検査)と前述の⑥処方情報です。しかしながらこの中にあじさいネットで最も利用されている(全体の50%)医師記録、看護記録は含まれておらず、あじさいネットの優位性は変わりません。むしろこれらの情報が加わることでさらにあじさいネットの価値が高まるものと思います。

一方、地域完結型医療の広がりに伴い、専門性の高い疾患患者も逆紹介が進んでおり、専門の違い等も考慮すると、今後ますます、専門病院からの専門的支援が重要となってきます。この手段として、地域連携パスが期待されていますが、通常、紙媒体がほとんどですので、患者とともに患者情報も移動し、必要時に閲覧できないという根本的な問題があり、多くの地域では期待する効果を發揮していません。あじさいネットでは、この問題を解決すべくオンライン型のネットワーク型パスを開発し、徐々に活用を広げてきました。本システムは、あじさいネットのVPNネットワークを利用した、オンライン型ですので、患者が非専門医管理、専門医管理のいずれにおいても専門医があじさいネット上でその状態を把握でき、逆紹介後の専門支援が容易に可能です。しかも入力の手間が大きい検査データは事前に検査データ共有システムに参加することで、入力を自動化しており、手間はかからない上、誤入力の危険性がなく、検査データ誤入力による専門医の遠隔判断の誤りが発生しません。

これまで、乳がんパス、脳卒中パス、心筋梗塞後再発予防パス、心不全パス、糖尿病・歯周病管理パスに加え、あらゆる疾患の検査データのみを多施設間で共有するMulti-diseaseパス(簡易パス)と様々な活用を広げており、その他の疾患での利用も打診いただいております。なお、長崎県産婦人科医会が運営している周産期医療支援システム「すくすく」は、全妊婦登録、全妊婦健診記録を登録し、ハイリスク妊婦の容易な把握と周産期センター搬送時、到着前の全妊婦記録の共有により新生児死亡率をさらに低下させる取組みですが、これもネットワーク型パスの周産期版の位置づけであり、検査データは自動で格納されます。

また、長崎大学病院皮膚科室田浩之教授を班長とする厚労省「無汗症」研究班では、本システムを利用したわが国唯一の「無汗症」疾病データベース(レジストリ)を構築中であり、10月には運用開始予定です。全国的に疾患毎のレジストリ構築が進んでいます。構築費用ならびに維持費が高額で、地連同様、コスト面で運用が継続できないケースが発生しており課題とされています。その点、本システムは、県内のICTメーカーによる開発のため大手に比べ構築費、維持費ともに安価な点も室田教授が選択した理由です。これが完成すれば、このような全国統一のレジストリ利用にも長崎県が全国に広がることも考えられます。

これを機会にネットワーク型パスをぜひご利用ください。なお、すべてのパスは全県下統一パスであることを条件としておりますので、利用により県全体の専門診療の標準化も実現可能です。お問い合わせは、あじさいネット拡充プロジェクト室までお願いいたします。

問い合わせ：あじさいネット拡充プロジェクト室 TEL. 095-894-9655 Email: ajisai-project@nagasaki.med.or.jp

《賛助会員様広告欄》

ぬくもりのある医療を、 100年先も、ずっと。

Warmful Healthcare for the next 100 years & ever.



インテグリティ・ヘルスケアでは、製薬企業や、病院・大学研究機関向けに、実臨床・臨床研究・臨床試験で活用されるePROプラットフォーム「YaDoc」を提供しています。

株式会社インテグリティ・ヘルスケア <https://www.integrity-healthcare.co.jp/>



Integrity Healthcare

あじさいネットで 糖尿病医科歯科連携パスを運用中です

長崎大学病院 病院長補佐 口腔管理センター 講師 ^{やました}山下 ^{りか}利佳 先生



2015年
あじさいネット
入会

糖尿病患者さんの 歯周病治療には、 糖尿病の管理が重要

近年、歯科疾患がさまざまな全身疾患と関連していることは広く認識されています。なかでも歯周病と糖尿病に関する報告は多く、2型糖尿病の患者さんでは歯周病の発症率が高いことや、血糖コントロールが不良な患者さんほど歯周病が進行しやすいことが報告されており、歯周病は糖尿病の合併症として認識されています。また、歯周病が重症であるほど血糖コントロールは悪化し、歯周治療により歯周組織の状態が改善すると血糖コントロール状態が改善し、HbA1cの値が減少することとも報告されています。このように、歯周病と糖尿病の間には双方向性の関連があると考えられることから、「糖尿病診療ガイドライ

ン」（日本糖尿病学会発行）では糖尿病患者さんへの歯周治療が推奨されており、「糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン」（日本歯周病学会発行）では歯周治療を成功させるうえでも糖尿病管理を徹底することは必須であると記載されています。

紙媒体での 関連性確認の難しさ

また、厚生労働省の「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」では、医科歯科連携の仕組みを構築し活用することが推奨されています。医科歯科連携推進の手段としては、全国保険医団体連合会発行の「糖尿病・歯周病医科歯科連携手帳」や日本糖尿病協会発行の「糖尿病連携手帳」などが存在しますが、これらの手帳が、医科歯科連携にどれくらい活用されているかは不明です。また、いずれも紙媒体であり、糖尿病のコントロール状況と歯周治療の関連性を確認することは難しいのが現状です。そのため、歯科受診や歯周治療の推奨について根拠となる明確な情報が不足しており、実際の臨床では患者さんへの説明も漠然としたものになっています。

あじさいネットで検査結果の 時系列同時表示を実現

そこで、あじさいネットのオンライン型地域連携パスに「糖尿病医科歯科連携パス」を構築しました。このパスでは、糖尿病の検査データと歯周病に関連する検査結果を時系列で同時に表示させ、相互の関係を目に見える形で表現できます。糖尿病関連の検査データ（HbA1c、GA、GLU、LDLC、HDLc、TG、尿中アルブミン、CRE、eGFR、nonHDLc）は検査データ共有システムを併用して自動入力し、歯周病関連の検査結果（現在歯数、口腔清掃状態（PCR）、歯周炎症表面積（PISA）、ポケット上皮表面積（PESA）、歯肉出血指数（BI）、歯周ポケット4ミリ以上、口腔内細菌数、咀嚼能力）はパスに手入力します。口腔内写真等の画像の登録・閲覧も可能です。2022年6月から運用を開始し、その後、改修を重ね、問題なく運用できるようになりました。

患者さんへの説明材料として 活用、また、データ蓄積が 医科歯科連携への足掛かりに

このパスの活用は、歯周治療の重要性や医科歯科連携の必要性に対する患者さんの理解を深め、歯周治療の数値的到達目標の設定にも役立つと考えられます。また、データを蓄積・分析してパス利用の有効性を示すことにより、ICT医療連携への歯科介入を促し、医科歯科連携の推進に繋がったと考えております。今後、多くの先生方に活用していただけることを願っております。

長崎大学病院 口腔管理センター TEL.095-819-7200 (長崎大学病院代表)

《賛助会員様広告欄》

NEC

Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。



あじさいネットの機能一覧



病診連携・病薬連携・病病連携 (カルテ共有)

情報提供病院のカルテ、画像、検査結果などの診療情報を共有することで、過去の病歴や併存症を正確に把握し、より質の高い医療提供に役立てられます。



多職種連携 (在宅医療)

複数の医療機関の様々な職種の方々との間で患者さんの情報を共有できます。在宅医療や専門に特化した診療に役立てられます。



セキュアメール (暗号化メール)

あじさいネット内でのみ送受信できるメールサービスです。高度に暗号化されているので安全に患者さんの診療情報を他院に送ることができます。



検査データ共有サービス

外注検査会社に依頼した検査結果をあじさいネット上で閲覧できます。さらにこの検査結果を他の診療所や病院と共有することが可能です。



AMEC TV会議

あじさいネットに繋がる端末に、カメラや音声機器をセットし、あじさいネットにログインすれば、どこでも手軽にTV会議やカンファランスに参加できます。



周産期医療支援ネットワークシステム 「すくすく」

母子の記録・情報を管理し、安全な出産と健全な発育の支援をしています。また、救急搬送時、周産期センター側は、妊婦さんの到着前に詳細な妊婦さんと胎児の経過を把握することが可能です。



AMEC ビデオ配信

医療従事者の知識・技術取得向上の為に開催されている研修会や講演会を録画配信していますので、あじさいネット上でいつでも視聴できます。



糖尿病疾病管理

糖尿病を持つ患者さんの診療情報を複数の医療機関で共有し、糖尿病診療の質向上を目指しています。



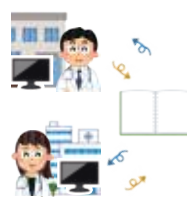
時間外対応サービス

夜間休日でも新規患者の病診連携・病薬連携・病病連携(カルテ共有)が行えるサービスです。夜間休日は病院の登録窓口が閉まっているため患者登録ができませんが、あじさいネットではそれが可能になりました。



オンライン診療システム

自宅での症状やバイタル記録なども入力できるオンライン診療を組み合わせて、きめ細やかな治療を継続的に進められるようサポートします。



地域連携パス

診療所と情報提供病院の医師が、患者さんの治療を協力して行うために治療経過を共有する治療計画表・管理表の電子版です。専門外の分野でも安心して診療ができるようシステムサポートしています。

《賛助会員様広告欄》

Good Health Creator, MEDical+sciENCE

Medical Scienceによる健康で安心な社会の創造に向けて貢献します

LSIメディエンス

臨床検査 / 健康診断サポート / 診断薬・機器 / 創業支援 /
食の安全サポート / ドーピング検査

2022年11月7日に本社を移転しました。

新本社住所: 〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目2番3号





AJISAI NET

あじさいネット説明同意書の送付先一覧

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2023年6月現在: 情報提供病院 37 施設)

	医療機関名・受付時間 (日曜・祝日は 全施設 受付なし)	FAX 番号	電話番号
長 崎 地 域	光晴会病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:00)	0120-573-632	095-857-3563
	十善会病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-801-2590	095-801-2599
	長崎大学病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-819-7305	095-819-7930
	長崎みなとメディカルセンター 患者総合支援センター (平日 8:45-17:00 土 受付なし)	095-821-1116	095-822-3251
	日赤長崎原爆病院 病診連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-845-262	0120-845-261
	済生会長崎病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-827-7025	095-827-7021
	聖フランシスコ病院 地域連携科 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-845-7600	095-846-2553
	井上病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-849-6622	095-844-1281
	長崎記念病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-871-1510	095-871-1515
	長崎北病院 診療録管理室 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-886-8707	095-886-8700
	虹が丘病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:30)	095-856-1102	095-856-1112
	上戸町病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-832-5616	095-832-5615
	国立病院機構 長崎病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	095-808-0176	095-824-2788
	重工記念長崎病院 (平日 8:30-17:00 土 8:30-11:30) 地域連携・入退院支援センター ※第2・第4土曜のみ受付	095-801-5520	095-801-5517
	長崎北徳洲会病院 医局 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-813-5862	095-813-5861
五 島	長崎百合野病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:00)	0120-857-057	095-857-3366
	長崎県上五島病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0959-52-8150	0959-52-3000
	長崎県五島中央病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0959-75-0657	0959-72-3181

《賛助会員様広告欄》

東七は「健康」をテーマに、医薬品の安定供給と医療機器販売、介護サービス支援を通じて、
地域医療の発展に貢献する『総合ヘルス・コーポレーション』を目指しています。

2021年 東七 は、創業115周年を迎えました。

～Since1906～

総合ヘルス・コーポレーション
TOSHICHI
東七株式会社

本社所在地 〒857-0192 長崎県佐世保市瀬戸越4丁目1318-1 TEL 0956-41-0777 介護サービス 0956-37-6000



あじさいネット説明同意書の送付先一覧

AJISAI NET

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2023年6月現在: 情報提供病院 37 施設)

	医療機関名・受付時間 (日曜・祝日は全施設受付なし)	FAX 番号	電話番号
県央・佐賀・島原	国立病院機構 長崎医療センター 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-731-063	0120-731-062
	市立大村市民病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-378-375	0957-52-1800
	国立病院機構 長崎川棚医療センター 地域医療支援センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-82-2970	0956-82-3121
	諫早総合病院 医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-1388-35	0957-22-1380
	貞松病院 地域医療連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-54-1165	0957-54-1161
	愛野記念病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0957-36-7072	0957-36-3950
	日赤長崎原爆諫早病院 医療連携室 (平日 8:30-16:30 土 受付なし)	0957-43-2870	0957-43-2111
	南野病院 地域医療連携室 (平日 9:30-16:30 土 受付なし)	0957-54-8752	0957-47-5200
	宮崎病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0957-25-7053	0957-25-4800
県北	国立病院機構 嬉野医療センター 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-473-489	0954-43-1213
	長崎県島原病院 地域医療支援センター (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-63-6544	0957-63-1145
	佐世保市総合医療センター 地域連携センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0956-24-0474	0956-24-1515
	佐世保中央病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:30 土 8:30-12:00)	0800-7000-070	0120-33-8293
	佐世保共済病院 医療連携室 (平日 8:30-17:30 土 受付なし)	0120-12-2067	0956-22-5136
県南・対馬	長崎労災病院 地域医療連携室 (平日 8:15-17:00 土 受付なし)	0120-666-437	0956-49-2191
	青洲会病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0950-57-2151	0950-57-2161
	長崎県壱岐病院 地域包括健康増進センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0920-47-1136	0920-47-1135
	光武内科循環器科病院 地域連携課 (平日 9:00-16:30 土 受付なし)	0920-48-1655	0920-47-0023
	長崎県対馬病院 地域連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-765-191	0920-54-7172

《賛助会員様広告欄》

NTT DATA



あじさいネット会員様向け

オンライン請求 + オンライン資格確認

訪問看護
ステーション
でも利用可能

あじさいネット会員様は「+1500 円」(月額) でオンライン請求・オンライン資格確認を利用可能です

オンライン資格確認の導入は NTT データ中国の
「おまかせパック」をご利用ください。

おまかせパックお申込みで WiFi 機器をプレゼント!

NTT データ中国「オンライン資格確認」接続サービス推進事務局

お電話: 082-567-4810 メール: onshi@its-center.net

技術員が訪問し
設置・接続いたします



あじさいネット 入会のご案内 【閲覧施設用】

情報提供病院の入会については手続き・費用とも本ページの記載と異なりますので、あじさいネット事務局にお問合せください。

入会申請から利用開始までの流れ 申請書類ダウンロード:あじさいネットホームページ <http://www.ajisai-net.org/>

1. 入会申請書を提出する

入会申請書に必要事項を記入し、あじさいネット事務局へ提出します。(申請書はホームページからダウンロードできます)

..... 施設が新規に入会する時に必要な書類

- 施設入会申請書【情報閲覧施設用】
- 機器設置ヒアリングシート
- 入会する人数分の 個人入会申請書

2. 運用講習会を受講する

あじさいネットの概要や、利用に際し必要な事をご説明する「運用講習会」を受講していただきます。

(講習会の日時や場所は、入会申請受理後にご案内いたします)

受講が終わると、「あじさい会員ID」が発行されます。

2. 機器を設置する

あじさいネットを利用するために必要なVPN機器の設置をするため、専門業者が施設にお伺いいたします。

(設置の日程については入会申請後、専門業者よりご案内いたします。)

3. 初期費用・利用料のお支払い

入会金・初期設定費用・利用料をお支払いいただきます。

※「利用料」は会費およびシステム料・ウィルス対策費用で、毎年10月以降に1年分を請求します。入会時は機器設置の翌月から9月分までを一括でお支払い下さい。

4. ご利用開始

これであじさいネットが利用可能です。患者さんから同意書を取り、情報提供病院にFAXすると約15分で(※)診療情報が閲覧できるようになります。皆様の日々の診療にぜひお役立て下さい。

※ 多人数登録の同意書については、設定に15分以上かかる場合があります。

閲覧施設の皆さまが
入会する場合の

入会時の費用

入会金
(1施設ごと)

50,000 円

初期設定費用
(VPN機器1台)

30,000 円

※ 所属団体(医師会、薬剤師会等)が入会されている場合は、**入会金が無料**になります。

※ 施設の種別が「病院」の場合は病床数により金額が変わります。詳しくは事務局へお尋ねください。

入会についての
お問い合わせ先

あじさいネット事務局
(長崎県医師会内)

095-844-1111

閲覧施設の
皆さまの

会員区分とご利用料金

	正会員	準会員*	ポータル会員*	システム料 (VPN機器1台)	ウィルス対策ソフト ライセンス料 (パソコン1台毎)
年会費 (1年分一括払い)	36,000 円 (月額3,000 円)	12,000 円 (月額1,000 円)	2,400 円 (月額200 円)	12,000 円 (月額1,000 円)	3,000 円
利用できる機能	あじさいネット 基本機能全て	あじさいネット 基本機能全て	希望する 1機能のみ	(価格は全て税込です)	
総会議決権	○	×	×	※ 5人以上入会する施設は会費が割引になります。 詳しい金額は事務局へお問い合わせ下さい。 ※ 情報提供病院はこの表と金額が異なります。	

* 1施設において、少なくとも1人は正会員となります。「準会員」または「ポータル会員」は、2人目以降の入会者について選択可能となります。

《賛助会員様広告欄》



Healthcare for You

私たちエスアールエルは、医療機関から預かる、患者さまの検体を通して、
いのちの未来を見つめています。

H.U.フロンティア

2020年10月1日、エスアールエル、富士レボ、日本ステリの営業機能がひとつになり、H.U.グループの営業統合会社「H.U.フロンティア株式会社」がスタートしました。

株式会社 エスアールエル 本社 〒163-0409 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング TEL.03-6279-0900 www.srl-group.co.jp



長崎大学病院 循環器内科 黒部昌也 先生



長崎大学病院 循環器内科 前村浩二 先生

地域医療ネットワークによる 心筋梗塞患者の情報共有と クリニカルパスによる再発予防の実現

長崎大学病院 循環器内科 教授 前村 浩二 先生
医員 黒部 昌也 先生

長崎における循環器病対策の強化の取り組み

2019年12月に脳卒中・循環器病対策基本法が制定されました。それに基づき2022年3月に長崎県循環器病対策推進計画が策定され、長崎県でも循環器病対策により一層取り組んでいます。

長崎市では地域連携を強化する取り組みとして、急性期病院、かかりつけ医、患者自身が治療目標を共有するための「長崎AMI二次予防クリニカルパス」の運用を開始しました。

長崎AMI二次予防クリニカルパスの概要

パス(Path)とは「道すじ」を意味します。ガイドラインで推奨される目標だけでなく、検査や治療の戦略も共有することで、目標の達成、維持に繋がることを期待しています。心筋梗塞後のポイントは(1)危険因子の管理、(2)抗血小板療法の適正化、(3)継続的な指導の3点です。

(1) 危険因子の管理

心筋梗塞は脂質に富んだ冠動脈プラークの破綻により発症します。LDLコレステロールが低いほど、プラークの安定化が得られると報告されており、発症予防のため積極的な脂質低下療法が推奨されています。クリニカルパスでは血圧、血糖、禁煙の管理に加え、具体的な一つの目標をガイドラインに則って「LDLコレステロール70mg/dl未満」としています。この目標に至るまでの道

すじとして、推奨する血液検査の頻度や投薬内容も記載しています。

(2) 抗血小板療法の適正化

ガイドラインでは患者個々の出血リスクを考慮した上で、カテーテル治療後の抗血小板薬の適正化を行うことが推奨されています。抗血小板薬の変更について、依頼内容をわかりやすくお伝えするために、「抗血小板薬の連絡票」を運用しています。

(3) 継続的な指導

外来受診時にチェックすべき項目をまとめた連携パスを作成しました。退院時におくすり手帳に貼り、急性期病院およびかかりつけ医の定期受診時に確認・記載を行っていただきます。管理目標を地域全体で共有し、継続的な指導を行うことで、患者さんの意識も高まり、目標達成や維持に繋がることを期待しています。

あじさいネットを用いたAMI地域連携パスの構築

一方、紙媒体での地域連携クリニカルパスには問題点もあります。一つは情報の共有が患者さんの移動と共に行われるため多施設・多職種での情報把握にズレが生じる点です。もう一つは紙媒体では情報をコンパクトにする必要があり、付随する経過や関連資料の参照がしにくい点です。急性期病院では、電子カルテや院内クリニカルパス運用が、質の高い多職種協働での診療の基盤となっています。同様に地域連携においても電子パスによる情報共有のメリットは大きいと考えられます。

そこで、あじさいネットを用いたネットワーク型AMI地域連携パスを構築しました(図1)。このパスでは、「地域連携パス」、「検査データ共有サービス」、「情報提供病院のカルテ共有(D-Link, Human Bridge)」の3つの機能を活用しています。

「地域連携パス」では、外来でチェックすべき項目をリストアップしています。各受診時に記録し、経時的に経過が閲覧可能です。またファイルのアップロード機能があり、前述の「抗血小板薬の連絡票」や「診療情報提供書」を表示できます。関連資料として、脂質低下療法プロトコルやスタチン有害事象の対応フローもリンクから参照できます。

「検査データ共有サービス」は、急性期病院・かかりつけ医の検査結果をあじさいネット上で確認できるサービスです。まるで単一施設で採血したかのように多施設のデータが時系列で確認可能です。「情報提供病院のカルテ共有機能」は、治療経過や患者説明内容、多職種の指導内容、各種画像などの閲覧にご活用できると思います。外来診療の一助になれば幸いです。

今後の課題と展望

今後の課題の一つは処方内容の共有です。急性期病院やかかりつけ薬局での調剤内容が自動で共有できれば、便利かなと思います。地域連携パスにより、地域が多職種が危険因子の管理状況や指導内容を把握することで、服薬管理やアドヒアランス向上に活かせる可能性もありそ

《賛助会員様広告欄》

「つなぐ医療」から、
「支える医療」へ。

富士通は、医療の未来をカタチにしていきます。

地域医療ネットワークの整備が進むなか、富士通は、地域と住民を「支える医療」にいち早く着手。災害時の事業継続、ビッグデータによる個別化医療、創薬の加速化をサポートします。

HumanBridge EHRソリューション

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン(総合窓口) 0120-933-200 (受付時間 9:00~17:30 土・日・祝日・年末年始を除く)

<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/products/humanbridge/>

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

FUJITSU

図1 ネットワーク型地域連携パス

	入院治療	退院1ヶ月後	退院2ヶ月後
医療機関名	長崎大学病院	長崎大学病院	長崎大学病院
受診予定日・予約日	2023/02/17	2023/03/09	2023/04/17
受診日	2023/02/17	2023/03/09	
カテーテル治療施行日	2023/01/27		
発症時年齢	70		
入院日	2023/01/27		
退院日	2023/02/08		
症状の有無	なし	なし	
喫煙の有無	あり	なし	
収縮期血圧 [mmHg]	90	101	
拡張期血圧 [mmHg]	59	58	
処方の変更			
抗血栓薬の切替			
目標値非達成			
ファイル1			
ファイル2			
ファイル3			
術後合併症が無い			
再発が無い			
診療録(アセスメント)			
診療メモ			
最終日	2023/02/17	2023/03/09	



ワンクリックで、
文書ファイル閲覧が可能

「抗血小板薬の連絡票」
「診療情報提供書」
「心電図、心エコー所見」
など



うです。
また、あじさいネットのもう一つの大きな機能であるオンライン診療システムと連動させるという夢もあります。各受診時の記録である地域連携パスと、日々のバイタル記録が繋がれば、繋ぎ目のない検温表が完成します。さらに日々の食事写真

のアップロードなども可能となるはずで、患者さんとの会話を日々の体調変化や生活の様子を聞くことは循環器疾患の管理に非常に大切な要素です。こういった新しくスマートな情報収集の方法も、なるべく簡単に活用できる環境にできればよいなと思います。

図2 ネットワーク型AMI地域連携パス利用の流れ



入院後に急性期病院とかかりつけ医で
あじさいパス使用について確認



入院中に同意書を取得
「ネットワーク型地域連携パス」※



あじさいネット拡充室へFAX
(パス登録作業)

※カルテ閲覧(ID-Link、Human Bridge)の同意書は別途同意が必要
かかりつけ医が検査データ共有サービス未利用の場合は別途申込みが必要

現在、長崎大学病院で運用中です。
実績を踏まえ、今後他の医療機関にも導入を検討中です。

ネットワーク型AMI地域連携パスの利用に際して
今回ご案内したAMI地域連携パスは、紙媒体は長崎市のみ、ネットワーク型パスは長崎大学病院のみで運用中です(図2)。

ネットワーク型パスは実績を踏まえた上で他の医療機関にも導入を検討しております。かかりつけ医の先生方におきましては、利用希望などご興味があれば相談窓口までご相談ください。各連携先の病院の先生方との調節をいたします。

長崎大学病院 循環器内科ホームページ <https://www.med.nagasaki-u.ac.jp/junkanki/clinic/ami-path.html>

相談窓口 黒部 昌也

Email: daigaku.kurobe@nagasaki-u.ac.jp

《賛助会員様広告欄》



新しい発想で医療に貢献します

NOVARTIS

ノバルティス ファーマ株式会社

<http://www.novartis.co.jp/>

7月31日で電話診療は算定できなくなります。

～YaDoc(オンライン診療ソフト)の導入を急ぎましょう！～

政府は、情報通信機器を利用した診療（旧・オンライン診療）を推進しています。このため2022年度診療報酬改定で、それまで普及の障害となっていた低い診療報酬が改定され、初診、再診ともに対面診療並（対面の87%）に設定され、各種加算も算定できるようになりました。推進の第二弾として、7月31日まで、電話を使った診療（電話診療）が算定できなくなります。このため、簡単な電話での指導や注意等を電話診療で算定していたケースでは、すべてYaDoc等を使って実施しないと算定できない上、逆に利用すれば、電話診療より高い診療報酬の算定が可能です。あじさいネットでは、将来的な情報通信機器を利用した診療の推進、普及を見越し、YaDocを提供するインテグリティヘルスケア社と提携し、あじさいネット会員特別価格として、通常利用費用の1/3である月10,000円で利用できます。新型コロナ感染症は5類に変更されましたが、今後遅れて第9波の発生を予想する専門家はまだまだ多く、地震や大雨、台風等住民避難が必須となる

災害は毎年全国各地どこかで発生しています。この備えや対策となるのは、もちろん、上記のように、これまで電話で実施していた短時間の指導もYaDocで電話診療がなくなった後も可能です。YaDocは患者がスマートフォン上で利用するアプリ（使用料は無料）上でオンライン診療が可能ですが、このアプリには、患者さんの自宅での血圧や体重などの管理情報や咳や息苦しさ、痛みなどの症状を患者さんや家族が入力し、診療中にこれを確認することで、その経過がよくわかるので、電話診療よりも、より診療の質も向上します。新型コロナ感染症で注目されたSPD2を遠隔把握することも可能です。我々はこれをPHR(Personal Health Record)機能と呼んでいますが、先行してこの機能を利用している会員の皆様は、これをオンライン診療時のみ利用するのではなく、対面診療時にも利用して対面診療の質も向上させています。また、高齢化がすすみ、足が悪い患者さん、離島も含め遠方や交通の便が悪い地域にお住まいの方もオンライン診療を併用することで、患者さんの負

あじさいネットOFF LINE通信 編集長 松本 武浩



漫画制作： たくま医院 院長 詫摩和彦先生
(長崎市医師会所属 / 長崎在宅Dr.ネット 副理事長)

*ご感想は、あじさいネット事務局
[aj-na@nagasaki.med.or.jp]
までお願いいたします。



SaluDiがヘルスケアをヘルス・マネジメントに変えていく

なによりも患者さんのために

沢井製薬

パーソナルヘルスレコード(PHR)管理アプリ

「SaluDi」の
詳細はこちら

バイタルデータ ○血圧 ○体重 ○血糖値 等▶
生活記録データ ○食事 ○活動量 ○お薬ノート 等▶
診療・検査データ ○健診・検査の記録 ○既往歴 等▶

... オンライン診療
サービス連携
... 医療・健康の
情報サービス

ヘルスケア機器との
連携により記録を身近に各種データ連携による
スムーズな診療生活習慣病の
予防・治療をサポート災害時・緊急時の
情報提供